

2017年9月29日

千葉県警察本部長 永井達也様  
松戸警察署署長 飯田剛士様

## 旧古ヶ崎南小学校正門前の信号機の存続を求める要望書

日本共産党古ヶ崎地域 住民有志  
日本共産党松戸市議会議員 高橋たえ子  
日本共産党千葉県議会議員 みわ 由美

日頃より、交通安全などのご活動などにご尽力され、ありがとうございます。

さて、突然の信号機移設の掲示に、私たちは戸惑い、地域からも同様の声が寄せられました。そこで、この度、地域アンケート調査を行いましたので、別紙のとおり、ご報告します。結果は移設計画の告知について、知らなかった方が半数以上に達するとともに、廃止に対して反対（どちらかといえば反対を含む）と回答した方が、74%以上となりました。

この信号機が廃止されると、高齢者の方も多く、小学生のお子さんのいる家庭もあり、地域住民の皆さんにとって危険であり、不安でもあることが調査へのご意見からもうかがえます。

現在、旧古ヶ崎南小学校の校内には、松戸市小規模保育所（出入口は別）と共に、教育研究所古ヶ崎分室（教育相談・適応指導教室「ふれあい学級」（児童生徒数は30名・指導員相談員12名）が、年間193日開設し、教育活動を行っています。

従来の学校は廃止ですが、増え続けている不登校の子ども達の通学路です。また、来年4月には公立の松戸市夜間中学の開校が決定し、松戸市で予算化もされていることから、夜間中学に通う人々の通学路にもなります。近隣には、松戸市立古ヶ崎第二保育所があり、車の送迎によりこの場所の信号はなくさないで、との声も切実です。

よって私たちは、住民や地域の皆さんのご意見に基づいて、旧古ヶ崎南小学校正門前信号機の移設計画を中止し、存続を強く求めます。引き続き、住民や子ども達、利用者の皆さんの安全をお守りくださいますよう、宜しくお願い致します。

以上